

萬代橋130周年フォトコンテスト審査会が行われました

10月20日（木）新潟市中央区にあるメディアシップで萬代橋130周年フォトコンテストの審査会が行われました。

新潟国道事務所から萬代橋130年事業実行委員会の委員長である大江事務所長が参加。一般部門と学生部門からそれぞれ大賞、優秀賞、審査員特別賞、佳作の計28点を選出します。

テーマを「萬代橋と〇〇」と題し、募集したところ533点の応募がありました。応募する人は、「〇〇」に入るものを考えていただきます。その結果非常にバリエーション豊かな写真が多く集まったと感じました。

萬代橋だけではなく、「〇〇」の観点に注目すると、萬代橋の意外な一面が見られて、市民の皆さんの萬代橋に対する思いに気づかされました。

受賞作品は明日、11月3日（木）に新聞等で発表されます。ぜひお楽しみにして下さい。



新発田市立猿橋中学校生徒、にいくで「職場インタビュー」を実施

10月26日（水）に新発田市立猿橋中学校1年生の生徒3名が、新潟国道事務所の情報管理室を訪問して「職場インタビュー」を行い、職員2名が答えました。

猿橋中学校1年生の生徒さん達は、新潟国道事務所のほかにも複数の事業所に分かれてインタビューを実施し、様々な職業について理解を深めているそうです。

当日行われた主なインタビューは以下の通りです。

Q. 具体的にどんな仕事をされるのですか？

A. 直轄国道の調査・計画から工事、維持管理まで多様な仕事をしています。道路の建設は計画から完成まで10年以上かかるとも息の長い仕事で、維持管理の仕事は24時間365日休みなく行っています。

Q. どのような人がこの職業に向いていると思いますか？

A. どんな仕事を任せられても、いつでも対応できる責任感の強さが求められます。

Q. この仕事をしていて嬉しかったことはなんですか？

A. みなさんの生活を支えているという使命感があり、やりがいを感じられるところがよい仕事だと感じています。

生徒さん達は大変熱心に質問をされていました。今回のインタビューが、生徒さん達の職業理解や進路選択の一助になることを願っています。



ITSコックピットの見学



生徒によるインタビュー

道の駅「庭園の郷 保内」登録証伝達式を行いました

平成28年10月27日、新潟県内で39番目の「道の駅」として登録された、道の駅「庭園の郷 保内」の登録証伝達式を三条市役所で行いました。

新潟国道事務所長が三条市長へ登録証を手渡し、三条市長から「道の駅「庭園の郷 保内」が地域の皆様はもとより、広く市内外の皆様から気軽に訪れることのできる交流の場として、親しみ、愛される施設となるようしっかりと取り組んでまいりますので、今後とも皆様方のより一層のお力添えをお願い申し上げます。」とコメントをいただきました。

平成29年3月の「道の駅」オープンに向けて、保内地区の更なる知名度向上を図る拠点施設として、トイレの24時間化や情報発信機能の整備を進めていく予定です。

関連URL: [記者発表資料](http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/161024mitinoekihonai.pdf)(PDF: 1158KB) <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/161024mitinoekihonai.pdf>

関連URL: [庭園の郷 保内ホームページ](http://honai-gardens.com/) <http://honai-gardens.com/>



庭園の郷保内



「道の駅」登録証伝達の様子

「新潟県建設業協会(新潟地区)との意見交換会」を開催しました

「新潟県建設業協会(新潟地区)と北陸地方整備局5事務所との意見交換会」は、公共工事の入札・契約及び工事施工に係る諸課題の解決に向け、地域の実情や受注者・発注者の双方が抱える課題を共有するため地域の建設業界の方々との意見交換を行うものです。

意見交換会では、入札・契約時の負荷の軽減、工事状況の受発注者間の相互理解による円滑な工事進捗及び「i-Construction」(ICT技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化)の取り組みによる生産性の向上等について双方から意見が出されました。また、担い手の育成・確保のための取り組みとして有効であった、現場環境の改善、インターシップの受け入れや現場見学会等の活動事例が紹介されました。



編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159（代表） 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL : niikoku@hrr.mlit.go.jp みちなび新潟: <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



木山小学校4年生の児童が除雪出動式に参加しました！

10月28日(金)新潟市西区新通にある新潟西除雪ステーションで除雪出動式が行われました。

当日は、木山小学校4年生の児童も参加し、除雪開始の意味を持つコールドキーが児童から除雪業者に手渡されました。

児童の応援挨拶では、「また雪が降ってくる季節が来ました。寒くて大変だと思いますが、私たちのために除雪を頑張ってください」と除雪業者に励ましの言葉をかけました。

その後新潟の除雪について、新潟国道事務所職員から話を聞き、除雪車に登場したり、凍結防止剤を触ってみたりして、除雪のことを多く学んでいただきました。

これから新潟都市圏でも雪が降ると思います。道路を利用する人は、早めの備えを十分に行ってください。また道路管理者が行う除雪についてご理解をいただきたいと思います。



コールドキーの手渡し



除雪車乗車体験

萬代橋検定が行われました

11月6日(日)に新潟市中央区にあるクロスパルで萬代橋ファン倶楽部主催の「萬代橋検定」が行われました。

当日は寒い日でしたが、20名の参加があり、皆さん一生懸命に検定を受けていました。問題は、普通に萬代橋を知っているだけでは解けないものもありました。

例えば…

「3代目萬代橋の橋幅22メートルは当時としては異例の長さであったがその理由は？」

1. 橋上に市場を設置する予定があった
2. 自動車社会を見据えた
3. 電車を走行させる予定であった
4. 特に理由なし(答えはこの投稿の一番下に)」

「昭和39年新潟地震以前萬代橋東詰橋下に貨物支線が通っていましたが運行していたSLは？」

1. C12
2. D51
3. C57
4. C62(答えはこの投稿の一番下に)」など

1位の方は、68問中57点で正解率83%です。2位以下も1点差で続くという皆さん萬代橋に詳しい人ばかりです。

検定後、新潟市歴史博物館の伊藤副館長から講演をいただき、萬代橋が新潟のまちづくり、発展に大きく関わってきたことを紹介されました。

萬代橋について詳しくなることは、萬代橋を大切にする第一歩だと思います。萬代橋を管理するにいこくとしては、ぜひ来年度以降も続けて欲しいと思います。



萬代橋ファン倶楽部代表保坂さんからの挨拶



検定の様子



1位から6位までは篠田新潟市長から表彰されました

答えは、3. 電車を走行させる予定であった と 1. C12 です。

11月8日に新潟大学の学生が橋梁補修工事の現場を見学しました

新潟国道事務所が現在施工を進めている阿賀野川大橋の補修工事の現場に、新潟大学の教授と学生3名が見学に訪れました。

今回の見学は、工事受注者の社員が新潟大学の卒業生である縁から実現したものです。

現地で現場代理人による工事概要の説明後、支承の取り替えを進めている橋脚に移動し、学生のみなさんに取り替え作業の様子を確認してもらいました。

見学した学生からは「1tも重量のある物を人力で移動していることに感動しました。」「鋼桁やコンクリート桁が伸び縮みしているのは初めて知りました。」と感想が述べられました。



工事説明看板で工事概要の説明



支承取替え作業を確認する学生

福島県いわき市の交通安全を考える皆さんがにいこくを訪問しました

11月10日（木）に「いわき東地区安全運転管理者協会」と「いわき東地区交通安全事業主会」合わせて11名の方が新潟国道事務所を訪問しました。

今回訪問された皆さんは、「冬場でもいわき市では雪が余り降らないですが、1回は何十cmか積もる。市民は冬期の生活に慣れていないので、ひとたび雪が降ると大変混乱する。今回新潟国道事務所を訪問して、除雪や冬期の対策を学んで、いわき市の交通安全の参考にしたい。」と話されていました。

当日は、事務所の概要と道路の管理について新潟国道事務所の職員から説明をさせていただきました。皆さん、除雪について大変興味を持ったようで、除雪や道路管理用のカメラについて質問をされていました。

新潟も雪が多いですが、雪に慣れているとは思わず、冬の備えを十分に行ってください。



萬代橋130周年記念シンポジウムが行われました

11月12日（土）新潟市中央区にあるメディアシップで萬代橋130周年記念シンポジウムが開催されました。

当日は、開場前から多くの方が並んで、関心の高さを伺わせました。

シンポジウムは、オープニングに万代太鼓「和童」の皆さんによる演奏、フォトコンテストの授賞式、特別講演とパネルディスカッションが行われました。

特別講演では、JTB総合研究所の中根さんから「土木観光と萬代橋～インフラツーリズムで新潟の魅力発信～」と題し、「萬代橋を舞台に市民が役者となり、楽しむからこそ、そういう姿を外から見ると魅力的だと思う人が出てくる」と話されています。

パネルディスカッションでは、「萬代橋と新潟の未来」と題し、パネリストの方々に議論していただきました。最後にコーディネーターの大塚さんは「本日のポイントとして3つ『萬代橋が市民活動の中心である』、『インフラの維持管理の重要性が高まっている』、『都市構造をどう変えるかという問題でも萬代橋が中心的役割を担っている』ということを再認識ができた」と纏められました。

初代萬代橋が架橋されてから今年で130周年。萬代橋は常に新潟のまちの発展を見てきました。それだけでなく萬代橋は一人一人にとっても思い出がある橋だと思います。これからも市民と新潟に寄り添っていく萬代橋がいつまでも続くように願っています。



万代太鼓「和童」による演奏



パネルディスカッション

出雲崎町交通安全協会の皆さんがにいこくを訪問しました

11月19日（土）に出雲崎町の交通安全協会の皆さんが新潟国道事務所を訪問し、情報管理室を見学されました。

常日頃から出雲崎町の交通安全を考えている皆さんがさらに見聞を深めようと訪れたとのことでした。

当日は、新潟国道事務所事業の案内、そして情報管理室の説明を行いました。

情報管理室では24時間3交代で道路の管理を行っていること、道路に設置してあるカメラで道路に異常がないかチェックしていること、道路に何かあれば情報掲示板などで道路利用者に周知することなどを説明すると「こういう仕事はなかなか見ることができない」などの感想を述べ、一様に驚かれました。

地域の皆さんに事故がないように、道路を大切に使うよう今回見聞したことを広めていただきたいと思います。



見て触れて！～児童が除雪について体験学習～

11月22日(火)関川村立関川小学校1年生(35名)の皆さんが、いろいろな働く車について比較する『自動車くらべ』の授業で関川除雪ステーションを訪れ、除雪体験学習を行いました。

体験学習では、除雪機械のデモンストレーション、除雪ステーション内部の見学、除雪機械への乗車や道路に散布する凍結防止剤(塩)に触れたりしました。

雨上がりの時折日差しが降り注ぐ空の下、体験学習に参加した小学生は「レバーに触って楽しかった。」「除雪車のことがいっぱいわかってよかった。」と感想を話すなど、元気で楽しく学んでいた姿が私たちにも活気を与えてくれました。

このような体験学習を通じて、地域の人々の暮らしを守る人がいることを学び、記憶に残しておいていただければと思います。



除雪機械デモンストレーション



除雪ステーション見学



凍結防止剤に触れてみる



除雪機械への乗車

大地震に備えて訓練を実施しました

11月14日(月)に新潟国道事務所では地震を想定した情報伝達訓練を行いました。

この訓練は毎年行っているもので、今回は新潟県下越地方で震度5弱の地震が発生するという想定で行いました。

今回は、以下の様な訓練を行いました

- ・国道116号巻バイパスでの道路の被災により緊急車両以外の通行の規制、災害復旧を想定した情報伝達
- ・災害情報システムの操作訓練
- ・道路の巡回点検を想定した情報伝達
- ・道路の被災状況・通行止め等の情報提供を想定した情報伝達

今後は、訓練における課題、問題点などの改善を行い、万一の災害に備えたいと考えています。

